

ありがとうございました

聖和3年目になっております。私たちは真のお父様におぶさりここまで来ました。私が日本に宣教に来たのも、お父様の命令によります。日本を愛し、真のお父様を迎える準備をしないという命令でした。真の父母様を2020年までに埼玉でお迎えしなければならないと思っています。お父様がなくなった今、私たちは私たちの足で歩いていかなければならない時なのです。そして自分が立つという事は責任が伴います。決して責任転嫁してはなりません。問題があれば、自分の責任としてとらえることが出来なければならないのです。成熟した姿勢が必要です。

1992年にお父様が日本に来られて植樹されたのは梅の木です。そのときの記念の揮毫は「夢と理念実現」でした。ですので梅の木ではありませんが、夢の木であるとも言えます。夢の木は人の心の中に植えるものです。真の父母様が植えた夢の木なのです。私たち一人一人が真の父母様の夢の木なのです。それでは夢の木から何の実をとるべきでしょうか？ 夢の実をとるべきです。いろんなことがあったとしても私たち一人一人は真の父母様の夢の実であるのです。夢の実がいつかは必ずとれると信じあって行きたいのです。神様の祝福は1日、1か月で頂けるものではありません。オリーブの木は根を張るまで15年かかります。夢の木が根を張るまで15年ですむかはわかりません。いつのその実が実ったのかは分からないのですし、代数がかかって実を結ぶものなのかもしれません。なぜこんなに実らないのかと悩む必要はありません。もっと立派に実るよう神様の役事なのかもしれないからです。皆様の苦勞が祝福された功勞になって行くよう祝願いたします。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
2. 真のお父様聖和三周年に向けての150日伝道路程
来る8月30日は「真のお父様聖和三周年」を迎えます。聖和三周年までの150日期間(2015年4月1日～8月28日)、真の御父母様の生涯路程の勝利を相続し神氏族メシヤとして、全祝福家庭が絶対信仰で真の父母様と一つになり、死生決断、実践躬行で必ず勝利して行きましょう。
目標:1家庭祝福、礼拝参加
期間:第1次 4/1～5/20 第2次 5/21～7/9 第3次 7/10～8/28
3. 天宙聖和式3周年までの93日特別精誠
精誠期間:2015年5月30日～8月30日
精誠内容:
1) 真の父母様と真のご家庭の安寧のために
2) 天の父母様と真の父母様の孝と伝統、真の愛を相続するため
3) ビジョン 2020 の実体天一国創建のため
4) 真のお父様聖和式3周年勝利(記念事業)と新しい出発のため
5) 神氏族メシヤ使命完遂のため
※陽.8月30日まで3人伝道、1家庭祝福(祝福感謝献金献納)
4. MERS 関連-清平修練日程に関する緊急公示
天宙清平修練苑も最悪の状況に対備してMERS 拡散を防止するために政府と歩調を合わせてMERS 拡散が落ち着くまで天宙清平修練苑の全修練会の日程を下記のように一時的に中止いたします。
措置期間:陽暦6月22日～MERS 拡散が終息するときまで
5. 伝道三日路程
日時:6月23日(火)～25日(木)
6. 健康講演会
日時:6月26日(金)10:30～
場所:浦和教会



【年頭標語】

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区長: 鄭日權 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel: 048-886-8774/Fax: 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

日曜礼拝式次第



説教者：鄭 日權教区長

司会者：田川 敏

伴奏者：町田滋子

開	会	司会者
黙	禱	全 体
※聖	歌 聖歌 16番	全 体
※敬	拝	全 体
※家	庭 盟 誓	全 体
※年	頭 標 語	全 体
代	表 報 告 祈 禱	奥平弘子
聖	歌	聖歌隊
み	言 訓 読	全 体
説	教	2014年活動報告	
※聖	歌と献金 聖歌 18番	全 体
※祝	禱	執礼者
※全	体 祈 禱	全 体
お	知 ら せ	司会者
閉	会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『生めよ、殖えよ、地に満ちよ、萬のものを治めよ』

今週のみ言

私たちは、神様の摂理が復帰摂理であることを知っています。復帰摂理とは何でしょうか。失ったものを再び取り戻すことです。造った人が壊れたので、み言を通して再創造することです。再創造されるべき人間です。体に通じるみ言も失い、心に通じるみ言も失い、心情とともに永遠に楽しめるみ言も失ったのが墮落した人間なので、私たちは、み言、すなわち真理を探し出さなければなりません。

真理はみ言だといいました。真理は組織を導いていく原則であると同時に、天倫の根本です。したがって、世界は今まで真理を求めてきました。ところが、まだ真のみ言が現れていません。真のみ言がないので、真の生命の実体がありません。真の生命の実体がないので真実の愛の実体がありません。真実の愛の実体がないので、真実の宇宙、真実の天地が現れていないのです。

— 天聖經 P119 —

統一運動

第53回「真の万物の日」敬礼式を挙行

天暦5月1日(陽暦6月16日)午前7時から、東京・渋谷の教会本部礼拝堂において、第53回「真の万物の日」敬礼式が行われ、多くの教会員が集まりました。全体で「真の万物の日」の意義を訓読した後、徳野英治会長が記念説教を行いました。

冒頭、1963年に「万物の日」が制定された経緯を説明した上で、米国アリゾナ州のラスベガスで行われた「国際平和教育院(通称:ピースパレス)奉獻式」(5月28日)と「真のお父様(文鮮明師)聖和1000日記念礼拝」(5月30日)に触れ、「真のお母様(韓鶴子総裁)は『お父様が今日のこの日に現れて喜んでおられる。お父様の夢であるピースパレスが実現した』と語られました。お母様の動機と心情はただ一つ、お父様が地上で願われたことを成し遂げたい。このことにお母様は自ら生涯を投入しておられます。奉獻式のテープカットで、お母様はお父様との深い信頼関係、心情世界を痛感する祈禱を捧げられました」と、奉獻式の様子を語りました。そして、「お母様は『真の父母を家族と氏族、友人知人に伝えなさい』と言われました。祝福家庭は“神氏族メシヤ”です。すべての食口、祝福家庭は『生涯伝道師』です。み言を万民に伝えなければなりません。真の父母様に出会い、祝福を受けた恵みに感謝して、信仰生活を歩んでまいりましょう」と強調しました。



2015年 VISION

幸せな家庭 健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

2015年 活動指針

1. 訓読の伝統確立
2. 青年・学生伝道強化
3. 神氏族メシヤ責任完遂
4. 真の家庭国民運動展開